

富里市・栄町・神崎町・多古町・芝山町
首長懇談会とりまとめ

本懇談会では、地方分権の進展や成田国際空港を取り巻く社会・経済環境が大きく変化する中においては、空港を中心とした市町が一体となり千葉県経済発展の先導役のみならず、日本の国際競争力を担う国際空港都市として発展していくことが更に求められることとなり、今後もこの地域における市町村合併への検討の必要性は変わることはないものと認識している。

平成22年春には、平行滑走路が2,500mとして供用開始され、また成田新高速鉄道の完成が予定されるなど、成田国際空港の機能拡充は着実に図られているが、更なる空港機能の拡充が必要とされ、それを実現するためには、空港と地域の共栄が不可欠であると考えます。

国際空港都市を実現し、成田国際空港が日本を代表する国際空港として更なる発展を遂げるためには、成田市に中心的な役割を担っていただくことが必要であるとの認識のもと、我々は今後も空港周辺自治体の合併協議については、合併特例法の期限に捉われず、門戸を開き対応する。

以上の内容について、本懇談会の総意としてここに確認する。

平成20年10月14日

富里市長	相	川	堅	治
栄町長	川	崎	吉	則
神崎町長	石	橋	輝	一
多古町長	菅	澤	英	毅
芝山町長	相	川	勝	重